

ベトナムにおける旧正月（テト）

ベトナムデスク 前田 昌良

1. はじめに

旧正月（旧暦で大晦日から1月3日までの間、ベトナムでは「テト」と呼ばれています。）は昔から続く、ベトナムで最も重要な祝祭日となっています。ベトナムではテトの間に先祖にお礼を伝え、幸せな新年を祈ります。また、ベトナム文化に興味を示す多くの日本人駐在員が、毎年ベトナムでテトを迎えています。そこで今回はテトの紹介を通じて、ベトナム文化を皆様にお伝え致します。

2. テトの飲食

ベトナムでは様々な料理を用意してテトを祝います。

- ◎料理：テトの料理といえば、Banh Chung や Banh Tet（いずれもベトナムのちまきです）が欠かせません。これらはもち米と豆や豚肉などをバナナの葉などで包み、10時間から12時間ほど茹でたもので、Banh Chung は四角形、Banh Tet は丸くて長い形のもので、かなり日持ちするため、日本のおせち料理のように保存食として楽しめます。その他、Dua mon（切り干し大根と人参の漬け物）や Cu kieu（らっきょう）などもあります。
- ◎ベトナム風ジャムとお菓子：スイカや向日葵の種、ショウガジャム、ココナッツジャム等様々な種類があり、これらのお菓子は供物台に並べられるほか、来客者にも振る舞われます。
- ◎テトの飲み物：手作りのお酒をはじめとして、ベトナムの伝統的な飲み物が飲まれています。その他、近年ではワインやビール、ソフトドリンクなども人気があります。

3. テトの家の飾りつけ

Mam ngu qua（大きな皿の上で果物の五類が並んだもの）を家に飾り付けることがテトの特徴のひとつです。皿に並んだ果物は果物の呼び方、色及び並び方を通して、家主の願いを表現します。Mam Ngu qua は、テトの一日目から三日目まで供物台に供えられ、その後、家族の幸運を願い家族全員に配られます。

テトが近づくと、ベトナム人は旧年の不運を追い出すため、家や家具を掃除し、ピンクの桃の花、黄色い梅の花、金柑などを居間に飾ります。ピンクの桃の花と

黄色い梅の花は初春だけに咲き、金柑はたくさんの実がなることから、どちらも新年の幸せを願うための特別な木です。

その他、幸せを表す伝統的な版画や、交差対句（語句がたすきがけのように配置されるもの）の書や、「福」「才」など良い意味の漢字が付く書を飾りつける家庭も多くあります。

4. テトの行事

- ◎旧暦の大晦日：ベトナムでは亡くなった先祖を迎えるため、大晦日の午後に先祖のための食事を必ず用意します。さらに、大晦日の夜には食事を2セット用意し、1セットは先祖のため供物台に供え、1セットは神様のために庭に供えます。供えられる料理は鶏肉やこわ飯（もち米やうるち米などをせいろなどで蒸した飯）が一般的です。また、多くのベトナム人は、新年を迎える時刻に Loc（神社・お寺などに植えられている常緑樹の枝と葉）を供物台に供え、一年の無病息災を祈ります。
- ◎旧暦の元旦：テトの中でも一番大切な日で、この日初めての来客者（「Xong dat」という）が新年の幸運に影響を与えると考えられています。そのため、多くのベトナム人は Xong dat を予め選び、お願いしています。また、通常はこの日に家族全員で祖父や祖母の家を訪問、新年を祝い、子供達にはお金が入っている小さな赤い袋（「お年玉」）が振る舞われます。その他、屋外を掃除しないこともテトの習慣のひとつです。ベトナムではゴミを掃くと新年の幸運も掃かれると信じられているためです。
- ◎旧暦の1月2日、3日：お世話になった先生、友達、近所のお宅を訪問し、新年のお祝いをします（この訪問を通じて周囲との関係が良くなります。）。また、お寺を訪れることもテトの習慣の一つとなっています。旧暦の1月3日には、大晦日にも準備した先祖に対する食事を再度用意します。これは先祖を送るためのものです。

5. テトフェスティバル

テトを祝う花を売る花市場が数多く立ち並ぶとともに、華やかな雰囲気彩られた様々なお祭り（競船やプロレスなど）やイベントが各地で開催されます。

6. 最後に

近年ではテト行事を簡略化する傾向がありますが、ベトナム人にとってテトは今でも特別な意味を持っています。皆様もテトの間ベトナムで過ごし、テトをお楽しみいただければ、ベトナムとの距離感もより一層縮まることでしょう。